

研究参加のご案内

一般社団法人 日本川崎病学会 バイオマーカー（難治例予測）小委員会
令和2-4年度日本医療研究開発機構（AMED）難治性疾患実用化研究事業

「川崎病冠動脈瘤発症予防のための急性期治療難治例予測診断法開発に直結するエビデンス創出研究」ご協力のお願い

川崎病は原因不明の全身性血管炎で、心筋梗塞の原因となる冠動脈瘤を来し後遺症となることが特徴です。特に治療に抵抗する難治例で心後遺症を来します。第26回川崎病全国調査(2021)によれば、心後遺症を来す症例が2.5%と一定数存在しており、さらに川崎病患者数は、コロナ禍では一時減少しているものの、年間約17,000人と年々増加していることから、今後も心後遺症をもつ川崎病患者数が増加することが懸念される現状です。

我々の先行研究において、バイオマーカーのテネイシンCとペントラキシン3を組み合わせると、良好な感度特異度で、3rd line以上を必要とする難治例を予測できるという結果が得られており、本研究は、それらのバイオマーカーを用いた川崎病難治例予測キットを開発するための前段階として、そのカットオフ値を決定するための観察研究です。

難治例が全体の約5%として、3年間で目標患者登録数を1500例（難治例70-80例）に設定しておりますが、患者さんの減少により十分な症例数が得られておりません。

ご協力いただきたい内容は川崎病で入院された患者様の血液採取（初期治療前後に3mlずつ）とオンラインによる患者登録です。

趣旨をご理解いただき、是非ともご協力いただきますようお願い申し上げます。

【お申し込みフォームは右のQRコードから】

本研究の申し込み/問い合わせ先

福岡大学 小児科

吉兼由佳子

yyoshika@fukuoka-u.ac.jp

